

BFSニュースレター

発行者 びとファイナンシャルサービス株式会社(BFS)

2009年11月1日発行

Vol. 6, 第6号

このニュースレターの主な掲載情報:

- グローバルな政治・経済、マーケットの最新情報や分析見通し
- BFSのサービス、実際のトピックス、ケーススタディ
- 資産運用や人生設計に役立つ情報
- 知っておくと得するホットな情報

株式投資は、りんごの木を育てるように

皆さんは、ジョンソン&ジョンソン(J&J)、プロクター&ギャンブル(P&G)という会社は知っていますか？J&Jはバンドエイド(絆創膏)やベビーパウダーで有名ですね。P&Gは洗剤やオムツ(パンパース)で有名です。両方とも、アメリカの会社ですがこの二つの会社は実は株式投資で、すごいことになっているのです。

J&Jを1985年(昭和60年)に1万ドル買った人は、現在株価は実に30倍で30万ドルになっています。そして、配当利回りは、なんと100%…。

P&Gを同じ時期に1万ドル買った人も、現在株価は実に30倍で30万ドルになっています。そして、配当利回りは96%です。

株価の上昇のほうは理解しやすいと思いますが、配当利回りが、こんな数字になると理解しにくいと思いますので、説明します。

J&JやP&Gは、1985年からこれまで25年間欠かさず配当を増やしてきています。実は両方とも50年以上連続増配を続けています。そのため、JNJは1985年当時0.08ドルだった配当金が今では1.96ドルになり、1985年1.96ドルの株価で買った人にとっては、現在は1.96ドル配当金がもらえているということです。

このため配当利回りは100%に

なるのです。

投資した金額が、毎年配当金でもらえるなんて、すごいと思いませんか？しかもまだ増えていく…。

実は、この例が日本でもあるんです。福井の男性がセブンイレブンを昭和54年の新規上場時1億円買ったのですが、いまではその資産は200億円を越え、配当金は毎年4億円以上入ってくるのです。これで投資した1億円に対し配当利回り400%です！！しかも、税率はたったの10%。一般の所得税でしたら40~50%？

これが、株式投資のものすごい力ですが、一挙にはいきません。まるで、りんごの木を育てるように、時を重ねてできることです。

株式投資をりんごにたとえますと、幹が太く大きくなるのが、元本の成長、配当金がどんどん増えていくのが、りんごがたくさん実っていくことです。



ノーベル賞受賞のサミュエルソンはこうっています。「株式投資は、草木を育てるように。」

お金持ちの気持ちとは

アダム・スミスは「国富論」で有名ですが、もうひとつ、「道徳感情論」という著作を著しています。その中で、こうっています。

“人は他人から同感を求めたいために、それを得やすい歓喜をイメージする富を求める。ここに私たちの野心の起源があり、日常生活で必要なもので満たされてもなお富を求め続けるのは、人からより同感を得たいという野心のためだ。

ところが、富を築き上げ、豪華な食事も、美しい衣装も、立派な邸宅も実際に手に入れてみると、大した満足感をもたらさない。かえって管理する手間が増え、他人からは、同感ではなく、嫉妬や非難を受けてしまうこともある。”

アダム・スミスに同感です。本当に大事なのは、人生の質なのでしょう。世界一の大富豪で投資の神様ウォーレン・バフェットはっています。

“私と同じくらいの年で、多くの人に愛されている人に尋ねると、全員が例外なく人生は成功だったという。ごく普通の仕事をしていたり、境遇は恵まれていなかったりしても、周りから愛されている人は、大きな成功を感じているものだ。”

今月の言葉

• 健康な大人たちに特徴的に見出しうるものは何か？ 彼らは愛情豊かな人々である。そして彼らはふつうの人より少ししか愛を必要としない。これは明らかに彼らがそれをこれまで十分に得ているからである。

• 有機体は塩分と愛情を必要としている。

アブラハム・マズロー
アメリカの有名な心理学者



・BFSのミッションは、お客様とパートナーになり、正しく客観的なプランニングとお客様資産の運用を通じて、お客様を人生のゴール達成に導くことです。

・BFSは、金融機関とは完全に独立して、お客様利益最優先の公正なアドバイスを提供しています。

・BFSは、最新で高度な理論や知識、30年以上のグローバルな豊富な経験、強い倫理観で最高品質のサービスを提供しています。

・資産運用サービスやライフプランニング、BFSについてもっと詳しく知りたい方は、左記までお問合せください。

Web サイトもご覧ください
<http://www.bfsc.jp>

発行者 びとうファイナンシャルサービス株式会社(BFS)

代表取締役 尾藤 峰男

〒164-0003

東京都中野区東中野4-7-18

岡藤ビル303号

電話 : 03-5338-9733

携帯 : 090-4934-3121

FAX: 03-5338-9734

電子メール : info@bfsc.jp

お客様の人生に豊かさを、心に安心とゆとりを—BFSの大切な役割

私なりの読書との向き合い方

わたしは、ここ2年ほどよく読書をするようになったのですが、その読書について、感じることをお話します。

本を読んで思うことは、本を買う値段だけの価値は必ずあるということです。自分で本を選ぶ選択眼も大事ですが、著者は、精魂傾けて書いています。また、書く内容については第一人者ですから、一流の考え方や思想があります。そもそもそういう人でないと本は出さないでしょう。

本を読むとき注意することは、何を目的に自分はこの本を読むかということ、をはっきりさせておくことが大事です。本にコントロールされてはいけません。ここが、本を読むときのポイントといってもよいでしょう。



自分の目的に合っていない内容のところは飛ばすということもひとつの方法です。また、本の中味には濃淡があり、ボリューム

を厚くするために図や表を増やすとかサンプルやストーリーを加えるといった手法も使います。そういう箇所は、どんどん飛ばしていくことです。本は全部をきちんと読まなくてはいけないという先入観は捨ててしまったほうがいいと思います。

さらに大事なことは、一度読んだら出すということです。知識を入れたまま消化不良になり、後の読書が続きません。読んだら人に話すと、読書録に残すと、出すことが大事です。私はこれを、読書録にする形で出しています。実はこれを、ブログにも載せています。

そしてもっと大事なことは、読書で学んだことを、実行する、行動に移すということです。これがないと読書をして何の意味もありません。読書で怖いのは、単なる知識の蓄積に終わりがねないということです。また読書したら、思考することが大事です。自分の考えを持つということです。

と、すこし知ったかぶりのことをお話してしまいましたが、これは、実は私が自分にいつも言い聞かせている言葉です。